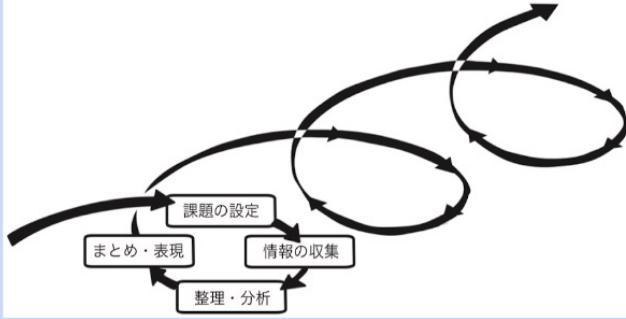


# 総合的な学習の時間

## 総合的な学習の時間の学習過程のイメージ



日常生活や社会に目を向け、児童生徒が自ら課題を設定する。

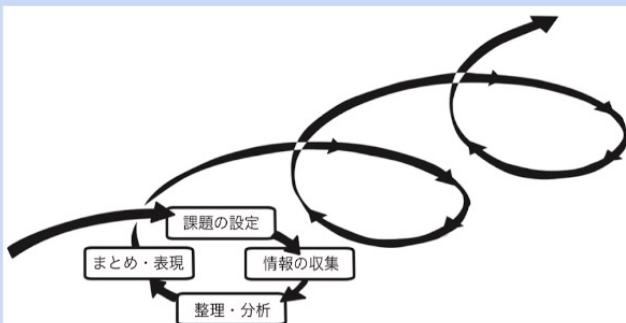
探究の過程を経由する。

- ①課題の把握 ②情報の収集  
③整理・分析 ④まとめ・表現

自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>■複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する</li> <li>■仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■目的に応じて手段を選択し、情報を収集する</li> <li>■必要な情報を収集し、多角的に分析する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えを持つ</li> <li>■視点を定めて多様な情報を分析する</li> <li>■課題解決を目指して、事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■相手や目的、意図に応じて論理的に表現する</li> <li>■学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かす</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>■問題状況の中から課題を発見し設定する</li> <li>■解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■手段を選択し、情報を収集する</li> <li>■必要な情報を収集し分析する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■問題状況における事実や関係を把握し理解する</li> <li>■多様な情報の中にある特徴を見付ける</li> <li>■課題解決を目指して、事象を比較したり、関連付けたりして考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■相手や目的、意図に応じて分かりやすくまとめ、表現する</li> <li>■学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする</li> </ul>

## 総合的な学習の時間のICTの活用イメージ



日常生活や社会に目を向け、児童生徒が自ら課題を設定する。

探究の過程を経由する。

- ①課題の把握 ②情報の収集  
③整理・分析 ④まとめ・表現

自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の心を揺さぶる事実との出会いの場面を設ける</li> <li>・遠隔会議システムを使い、遠方の方も講演できるようにする</li> <li>・講演中の質問や感想のやり取りなど、問いをもつきっかけとなる意見をリアルタイムで共有する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決のための情報を収集する</li> <li>・遠隔会議システムを使い、遠方の方と会話やデータのやり取りをする</li> <li>・クラウド上でアンケートを実施する</li> <li>・直接体験で感じたことを、すぐに画像やテキストで記録する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決に迫る納得解を導く</li> <li>・データをクラウドで共有し、いつでも誰でも使用できるようにする</li> <li>・複数のデータをモニターに写して比較したり関連付けたりし、視点を定めて分析する</li> <li>・納得解をクラウドで共有し、意見を述べ合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手意識をもち、相手に伝わるようにまとめ・表現する</li> <li>・スライド、内容、話術、姿勢、目線など、作成の観点を設ける</li> <li>・作成の観点を評価の観点とし、中間報告する</li> <li>・校内や保護者などへの直接発表に加え、遠隔会議システムを用いて遠方の方へも発信する</li> </ul>



## 中学校2年 ワクワク！学年生徒会 ～SDGs達成に向けて～

見方・考え方：実生活・実社会の課題を探究し，自らの生き方を問い続けること  
ICTの活用：アイデアを共有し，意見を交わしたり参考にしたりすること  
学習場面：学年生徒会の活動をSDGsの視点で見直し，活動を考える

### 「情報の収集」に至るまでの流れと次の学びへのイメージ

「持続可能な社会の実現のために自分たちにできることは何か」という問いをもった2学年の生徒たちは，学校生活をSDGs17の視点で見直した（課題の設定）。学年生徒会として，学校生活上の問題点や友の意見を集め活動を考えている（情報の収集）。実践の成果と課題を分析し（整理・分析），3年生として取り組む次年度の生徒会活動に反映させようとしている（まとめ・表現）。



学年全体での取組のため，授業は学年一斉です。委員会ごと各教室に集まり，遠隔会議システムを用いて各委員会をつなぎ，この時間に取り組む問題や見通しを確認します。活動の最中や振り返りでも，オンラインで意見交換することができます。



インターネット上で紹介されているSDGsの取組を調査し，生徒会活動の参考にします。また，素案をクラウド上で同時共同編集し，随時修正していきます。



より必要感のある活動にするためにクラウドアンケート機能を用いて他の委員会のメンバーからも意見を募りました。多くの意見を一挙に集約し，傾向を探ることができます。

### この事例のポイント

- ・ 持続可能な社会の実現を目指す探究（総合的な学習の時間）と，身近な問題を解決する生徒会活動（特別活動）を横断した実践であり，ICTを活用することで学年での授業を容易にしている。
- ・ 同時共同編集機能やクラウドアンケート機能など，目的の実現のために必要なICTツールを，生徒自身が選択し活用している。